

琉球大学学術リポジトリ

米国管理下の南西諸島状況雑件 沖縄関係重要事項
半月報(1)

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-02-04 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43507

木 5 回 (姫 40 11 16_B 30_B)

タイプ指示	発信用	執務用	計
主 信	1	1	2
付	4の子		
属			

発送日 昭和40年12月10日
 発信 中 タイプ H10

文書課長 (印) 公 信 案 (分類)

公 信 第 1496 号 公 信 昭和40年12月10日 日付

大 目 主任 北米局長
 政務次官 参事 廣
 事務次官
 外務審議官
 課長 主任 北米課長 用

起案 昭和40年12月7日
 起案者 後藤 電話番号 444

受信者 在米 武内大使
 発信者 椎名大臣

写送付先 (希望発送日) 月 日

件 名 沖縄関係重要事項半報送付(第5回)

10 223

米北第1496号
 昭和40年12月10日

在米大使殿

外務大臣

沖縄関係重要事項半報の送付
 本半報 第5回分(11月16~30日)を
 下記の通り作成したものを別添送付する。

記

- 立法院選挙をめぐる騒動
- ガフ・ロッキン戦員 記者会見
- 民主党緊急役員会

4. 松岡主席記者会見
5. フトソン高等弁務官演説 (於金内クラブ)
6. 民主党幹部 高等弁務官と会見
7. フトソン高等弁務官記者会見
8. 那覇市長選挙革新共斗会議結成式

付属物添付

第5回沖縄関係重要事項半月報

(昭和40年11月16~30日)

1. 立法院選挙とあつる暴動

先般の立法院選挙投票日の翌11月15日、久米島仲里村(才23区)で落選した伊星名秀光候補を支持する青年達が、当選者大田昌和候補の選挙事務所や支持者宅10数軒を襲撃し、重傷者を出すという事件が発生し、11月29日村会会長、婦人会長らを含む客疑者27人が逮捕されたといわれています。同選挙区は志川村(大田候補出身)と仲里村(伊星名候補出身)は従来から選挙のたびに対立を繰り返しており、今次の暴動は両村民の対立感情から発生したものとみられています。

又、同15日宮古島平良市(才28区)では

群衆が向警事務をめぐって騒ぎ出し、那覇から警戒隊150人が派遣された。~~横断線~~

2. サラソッキ-代表記者会見

サラソッキ-米下院極東小委員会委員長と団長とが米議員極東視察団一行9名は、11月18日沖縄に立寄り、米軍・米民政社会同の沖縄事情全般にわたる説明会に出席したほか、ワトソン重等弁務官、松岡主幹らと懇談した。~~横断線~~

一行は翌19日マニラに何れ出発するにあたり記者団と会見し、沖縄問題について次のように見解を述べた。

(1) 主席公選に對する松岡主席の関心の厚さは「わが」の地域に脅威が存する限り、現在の主席選任制度の変更は不可能である。この問題については米政府も検討を続けている。

(2) 将来は基礎と施政権を分離する可能性が出てくる時期がくるであろうが、今はこの段階ではない。

(別添 1)

3 民主党緊急役員会

11月21日、沖縄民主党は、緊急党役員会を開き、松岡主席の任期満了に伴う主席公選問題、那覇市長選挙対策の案について協賛、

主席公選問題については、同月25日にワトソン空軍少将と合見して米側の意向を打診することを決定。又、那覇市長選挙については、那覇連合支部、市町村長、同代議員連盟役員との合同合流を期して、野党の共済態勢に對する一に存したと報せられた。

4 松岡主席記者会見

松岡主席は11月22日の記者会見で、任期問題について次のように言明した。

。自分の任期は、自分が任命した立法院議員の任期が満了する11月30日以降も、

大統領行政命令により「後任者の任命に要する適当な期間、在任する」と明記

されており、次期主席が次期 辞任する考え
あり。

5. ワトソン高等弁務官 全門クラブで演説

ワトソン高等弁務官は、11月23日全門クラブの
定期総会に出席 演説を行なったが、その中で
近い将来に、主席選任方法に何らかの変更が
加えられる可能性のあることを明らかにし、主席
選任方法を現在の指名制から立法院議員に
より間接選挙制に変更する用意のあることを再び
示唆した。(別添 2)

6. 民主党幹部 ワトソン高等弁務官と会見

長嶺立法院議長ら沖縄民主党幹部は

11月24日 ワトソン高等弁務官と会見し、主席公選
の実現方を要請したと伝えられた。ワトソン
高等弁務官は、主席公選は不可能ではないが、
現時点において公選によって日米琉のバランスを
くずすことになる。住民の福祉はもちろん、琉球
の発展は望めなくはないとして、民主党議員団が
主席の選任方法について ^{直接}公選以外の方法と
検討することを望むと述べた。この点 具体的な
回答は得られず、したがって最終的な結論は
達しなかった模様である。

7. ワトソン高等弁務官記者会見

ワトソン高等弁務官は11月26日の記者会見で、主席公選問題について、主席選任の方法はいくつもある、この問題についてワトソンから回答があり、次を発表したが、現在は手探り中であると述べた。(別添3)

8. 那覇市長選挙革新共闘会式結成

11月27日、沖縄の野党3派(社大、人民社会)及び労組、民主団体代表ら約150人は、那覇で、那覇市長選挙革新共闘会式結成式を行った。また、12月19日の那覇市長選挙に先立って、統一綱領、統一政策を決定(12月16日)平良良松氏(社大党)を革新共闘候補に決定(12月19日)